

JVA
JAPAN BEACH VOLLEYBALL TOUR

2017

Sports Regulation

<2017.4.11>

目次

1 エントリー	1
(1) エントリー	1
(2) 参加チームの決定	2
(3) ファイナル参加チーム決定	3
(4) ワイルドカード	3
(5) キャンセル	5
(6) 選手変更	5
2 シーディング	6
(1) シーディング	6
(2) プレリミナリリンクワイアリ	7
3 競技形式	7
(1) 予選	7
(2) 本戦	7
(3) ファイナル	9
4 その他重要事項	14
(1) 競技全般	14
(2) ユニフォーム	14
(3) コーチング	15
(4) 大会の棄権	15
(5) ポイント	15
(6) 賞金	15
(7) 女子選手ユニフォームのオプション	15
(8) 公式行事への参加について	15
(9) コンプライアンス規定の遵守	16
(10) その他	16

1 エントリー

(1) エントリー

ジャパンビーチバレーボールツアーおよびジャパンビーチバレーボールツアーファイナル(以下、「ジャパンツアー」および「ジャパンツアーファイナル」という。)に参加を希望する全てのチームは必ず所定のエントリー手続きを済ませなければならない。

1) エントリー資格

◆ジャパンツアーおよびジャパンツアーファイナルに参加を希望する日本人選手は日本ビーチバレーボール連盟選手登録を行っていないと認められず、大会ごとに設定された締切り日までにエントリーをしなければならない。ここで言う登録とは登録費の支払い手続きを完了したものとす。

◆ジャパンツアーおよびジャパンツアーファイナルに参加するには日本ビーチバレーボール連盟選手登録のS登録を行っていないと認められない。エントリーの時点ではA登録も認めるが、大会参加が決定した場合、大会5日前までにS登録を完了していないと認められない。大会開催日の時点でA登録の選手は大会の参加を認めない。

ただし、高校生以下の選手については日本ビーチバレーボール連盟選手登録のA登録でもジャパンツアーおよびジャパンツアーファイナルに参加できるものとする。

◆外国人選手は日本ビーチバレーボール連盟選手登録を行うか、その資格を有さない場合は所属する国のバレーボール協会からの参加申請に基づき、公益財団法人日本バレーボール協会ビーチバレーボール事業本部の承認を経て参加を認めることがある。

◆日本ビーチバレーボール連盟選手登録を行っていない外国人選手が一人以上含まれるチームは規定範囲での参加を認める。

2) エントリー期限

大会ごとのエントリー期限は原則24日前を目途に設定する。期限日の23時59分までを期限とする。

3) レイトエントリー

大会ごとのエントリー期限を過ぎた後も大会へのエントリーは認めるが、そのチームはレイトエントリーチームとして取り扱う。

4) 監督、コーチ、トレーナー申請

ジャパンツアーおよびジャパンツアーファイナルでは参加チームの監督、コーチ、トレーナーをチームスタッフとしてAD申請のうえ会場内に入ることを認める。チームスタッフの申請は、大会エントリーと同時にエントリー期限内に行う。なお、各チーム2名以内とする。

5) 参加料

ジャパンツアー及びジャパンツアーファイナルの大会参加費は1万円／1チームとする。

ただし、予選は無料とする。

(2) 参加チームの決定

ジャパントアアの参加チームは以下の通り決定する。

1) 大会参加チームの決定

◆ジャパントアアの参加チームは各大会のエントリー期限時点でのJVAビーチバレーボール・オフィシャルポイント(以下、「JVAポイント」)によるエントリーポイントにて参加チームを決定する。予選が実施される大会では、本戦推薦チーム、予選参加チームを決定する。

◆エントリーポイントは、各選手のエントリー締め切り時点のオフィシャルポイント加算大会(直近52週間までに出場した大会)のうち、ポイントの大きい順6大会の合計で計算し、2人の選手のポイントの和とする。

◆エントリーポイントが同じ場合はジャパントアアチームランキングの高いチーム(二人の選手の和)を上位とする。ジャパントアアチームランキングが同じ場合はJVAビーチバレーボール・オフィシャルポイント(以下、「JVAポイント」)の高いチーム(二人の選手の和)を上位とする。

◆レイトエントリーチーム

レイトエントリーチームはその大会が参加定員に満たない場合のみ参加することができる。予選が実施される大会においては、予選から大会に参加することができるが本戦推薦チームに値するJVAポイントを持っていても本戦推薦チームにはならない。また、その大会が参加定員を満たしている場合は予選参加チームに値するJVAポイントを持っていても補欠チームとなる。

◆ジャパントアアチームランキング

ジャパントアアの成績で、チームとしてのランキングを設ける。同ペアで出場した成績のみを足したランキングとなる。

2) 補欠チーム

ジャパントアアへのエントリーチームが大会参加定員よりも多い場合、エントリー期限日時点でのJVAポイントで参加定員以降のチームとレイトエントリーチームは補欠チームとなる。それら補欠チームは以下のように取り扱う。

◆正規(エントリー期限内)にエントリーした補欠チーム

他チームのキャンセルによる繰り上げはエントリー期限時点のJVAポイントによって行われる。

◆レイトエントリーチーム

他チームのキャンセルによる繰り上げは正規にエントリーしたチームを優先する。レイトエントリーチーム同士は申込み順で繰り上げを行うものとする。

3) 本戦推薦チームのキャンセル、ラッキールーザー(予選が実施される大会)

ジャパントアアの各大会で参加チーム発表後に本戦推薦チームのキャンセルが発生した場合、そのタイミングに応じて以下のように取り扱う。

◆(大会当日)予選プレミナリインクワイアリ終了まで

予選参加チームの中でエントリー期限時点のJVAポイントが最も高いチームを本戦推薦チームに繰り上げる。ただしレイトエントリーチームはこの対象にはならない。

◆予選テクニカルミーティング開始後から本戦プレミナリリンクワイアリ終了まで
予選で敗退した全てのチームから抽選で本戦参加チームを決定する。

◆本戦テクニカルミーティング開始後
通常の試合棄権と同じ扱いとする。

(3) ファイナル参加チームの決定

ジャパントゥアーファイナルは8チームによる本戦のみで行い、その参加チームは以下の通り決定する。

1) 大会参加チームの決定

ジャパントゥアーファイナルはエントリーチームから以下の順番に基づき参加チームを決定する。

- ①エントリーチームの中で同年度内におけるジャパントゥアーチームランキングの高いチームから6チームをジャパントゥアーファイナル参加チームとする。ただし、2大会以上優勝したチームには、ファイナルの出場権を優先的に与える。
- ②エントリーチームの中でエントリー期限時点でのJVAポイントの多いチーム(エントリー選手二人の和)から2チームをジャパントゥアーファイナル参加チームとする。なお、同年のジャパントゥアーに1大会以上参加しているチームに限る。
- ③ワイルドカード(外国チームを含む)を最大男女各1チーム入れる場合がある。その際はジャパントゥアーチームランキングによる出場チームの出場枠にて調整する。

2) 補欠チーム

ジャパントゥアーファイナルへのエントリーチームが大会参加定員(8チーム)よりも多い場合、エントリー期限日時点でのJVAポイントで9チーム目以降のチームとレイトエントリーチームは補欠チームとなる。それら補欠チームは以下のように取り扱う。

◆正規(エントリー期限内)にエントリーした補欠チーム

他チームのキャンセルによる本戦への繰り上げは同年度内のジャパントゥアーチームランキングによって行われる。ジャパントゥアーチームランキングが同じ場合はエントリー期限時点でのJVAポイントの高いチームを上位とする。

◆レイトエントリーチーム

他チームのキャンセルによる予選への繰り上げは正規にエントリーしたチームを優先する。レイトエントリーチーム同士は申込み順で繰り上げを行うものとする。

(4) ワイルドカード

ジャパントゥアーには大会主催者が定めるワイルドカードが参加することがある。ワイルドカードによる参加チーム数の上限は以下の通りとする。

◆予選・・・2チーム以内

◆本戦・・・2チーム以内

1) ワイルドカードの対象

ワイルドカードは正しくエントリーを行ったチームを対象とし、所定のシードが与えられる。

◆ワイルドカードは、JVAワイルドカード、開催地ワイルドカードから選ばれる。

◆ワイルドカードは申請権を持つ組織がジャパンツアー実行委員会に対し申請を行う。

◆ワイルドカード申請は、参加チーム発表期日までに行わなければならない。

◆1選手に対しワイルドカードの選出は年間2回までを限度とする。(ツアーファイナルを除く)

2) ワイルドカードの推薦権

ワイルドカードの推薦は、以下の推薦団体がジャパンツアー実行委員会に推薦を行う。選手本人からの推薦書提出は対象外とする。また、ワイルドカードは大会ごとに推薦を行う必要がある。

◆開催地都道府県バレーボール協会又は開催地都道府県ビーチバレーボール連盟

◆JVAビーチバレーボール事業本部

◆JVAビーチバレーボール強化委員会

◆日本ビーチバレーボール連盟

3) JVAワイルドカード

JVA並びに日本ビーチバレーボール連盟は最大で2チームのワイルドカードを推薦することが出来る。

4) 開催地ワイルドカード

開催地都道府県バレーボール協会又はビーチバレーボール連盟は最大で2チームのワイルドカードを推薦することが出来る。

5) JBVサテライト優勝選手ワイルドカード

サテライトの優勝選手をワイルドカードの選考対象とする。

チームが変わることも踏まえ選手個人を対象とするが全員を選ぶわけではない。

希望する大会に通常エントリーとワイルドカードエントリー行うものとする。

6) ワイルドカードの決定権

ワイルドカードはジャパンツアー実行委員会が決定する。

7) 外国人チームの出場

正規のルートにより推薦された外国人チームは、強化の目的からワイルドカードに含めない。

出場の決定は、JVAビーチバレーボール事業本部並びに同強化委員会で行う。

(5) キャンセル

各大会にエントリーを済ませたチームがそれを取りやめる場合は必ずキャンセルの手続きを行わなければならない。

1) 予選参加チームのキャンセル

ジャパンツアー実行委員会事務局に連絡し確認を受けた時点でキャンセルが認められる。プレリナリインクワイアリ（選手受付）が終了するまでに連絡がない場合、罰則として以後のJVA主催大会への参加を認めない場合がある。ただし、ジャパンツアー実行委員会がやむを得ない事由と判断した場合に限りこの限りではない。

2) 本戦参加チームのキャンセル

本戦参加チームがキャンセルする場合は以下の手続きを行わなければならない。

◆本戦推薦チームがキャンセルする場合は、**怪我等の場合は診断書、その他の理由の場合は文書にて申請し、ジャパンツアー実行委員会の承認を得なければならない。**

◆本戦に出場する予選通過チーム及びラッキールーザーチーム本戦出場が確定した時点より、キャンセルする場合は**怪我による棄権以外は認めない。ただし、ジャパンツアー実行委員会がやむを得ない事由と判断した場合に限りこの限りではない。**

◆ジャパンツアーにおける診断書の提出を必要とするキャンセルについて、診断書の提出がないチームは、罰則として以後のJVA主催大会への参加を認めない場合がある。

◆ジャパンツアーにおいてプレリナリインクワイアリに来なかったチーム、すなわち主催者に無断でキャンセルを行ったチームは、別に定める罰則が適用される。

◆診断書の提出を必要とするキャンセルにおいて、診断書がない場合でもジャパンツアー実行委員会がやむを得ないと認めた場合に限り、罰則が適用されないことがある。

◆FIVB、AVC主催大会又はJVAビーチバレーボール事業本部が認める大会への参加又は参加するための移動等によるキャンセルは罰則の適用外とする。**ただし、ジャパンツアー参加後の棄権は認めない。**

(6) 選手変更

エントリー期限後でもジャパンツアー実行委員会が認めれば、ルールに定められた範囲に限りチームでどちらか一方の選手を変更することが出来る。

◆変更によってチームに加入する選手はすでにジャパンツアー参加に必要な日本ビーチバレーボール連盟選手登録(S登録)を済ませていなければならない。

◆JVAポイントは変更後の選手のものを採用する。選手変更によるJVAポイントの増減に伴いエントリーリストを変更する。すなわち本戦推薦チームが予選参加チームに繰り下がる。また、予選参加チームが補欠チームに繰り下がることもある。

◆選手変更時点でエントリーリストが発表され、すでに本戦推薦チームが決定している場合、JVAポイントが上がることによって予選参加チームが本戦推薦チームに繰り上がることはない。

◆補欠チームが選手変更によりJVAポイントが増えた場合、補欠チーム内での順位が変更されるが、予選参加チームに繰り上がることはない。(予選参加チームに繰り上がるには、本戦推薦チームもしくは予選参加チームのキャンセルもしくは選手変更が行われた場合に限る)。

1) 選手変更期限

大会7日前以降の選手変更は認めない。ただし、ジャパンツアー実行委員会がやむを得ないと判断した場合にはこの限りでは無い。

2) ワイルドカードの選手変更

ワイルドカードはいかなる時点でもジャパンツアー実行委員会が認めた時に限り、ワイルドカードのままどちらか一方の選手を変更することが出来る。

2 シーディング

(1)シーディング

大会の各カテゴリーにおけるシーディングの方法は以下の通りとする。

1) 予選

予選のシーディングは大会5日前時点のJVAポイントに基づき、プレリナリインクワイアリの時点で確定する。JVAポイントが同じ場合はジャパンツアーランキングの**高い**チームを上位とする。それも同じ場合はジャパンツアー実行委員会による厳正な抽選によりシーディングを決定する。

2) 本戦

本戦のシーディングは大会5日前のJVAポイントに基づき、プレリナリインクワイアリの時点で確定する。JVAポイントが同じ場合はジャパンツアーランキングの**高い**チームを上位とする。それも同じ場合はジャパンツアー実行委員会による厳正な抽選によりシーディングを決定する。

◆出場チーム(本戦)が12チームの場合、シード9～12は抽選により決定する。

3) ワイルドカード

ワイルドカードはそれぞれカテゴリーで以下のシードが与えられる。

◆予選

予選1 …… シード5

予選2 …… 大会5日前時点のJVAポイント順

◆本戦

本戦1 …… 競技形式別に定める。

本戦2 …… 大会5日前時点の JVA ポイント順

ワイルドカードのシーディングは、上記シードと自らのJVAポイントにより与えられるシードのうち、より上位となるシードを適用する。

4) 選手の変更

選手を変更したチームのJVAポイントは変更後の選手のものを採用する。

(2) プレミナリインクワイアリ、テクニカルミーティング

プレミナリインクワイアリ、テクニカルミーティングは、原則大会当日に大会実行委員会の定める時間、場所で大会主催者代表の出席のもと開催される。プレミナリインクワイアリの時間、場所については、大会ごとに事前に参加選手に通知される。

大会エントリーチームはプレミナリインクワイアリとテクニカルミーティングに参加した時点で大会参加チームと認める。プレミナリインクワイアリ、テクニカルミーティングには原則選手2人が参加しなければならない。やむを得ない理由によりプレミナリインクワイアリ、テクニカルミーティングに参加できないチームはプレミナリインクワイアリ終了時間までにジャパンツアー実行委員会事務局に連絡しなければならない。

プレミナリインクワイアリ終了時点でプレミナリインクワイアリの会場にいないチーム、連絡のないチームは無断でのキャンセルとみなし、罰則として以後のJVA主催大会への参加を認めない場合がある。

なお、プレミナリインクワイアリ、テクニカルミーティングを実施しない場合は事前に通知する。

(3) 競技形式

1) 予選(予選を実施する場合)

ジャパンツアーの予選は最大8チームのシングルエリミネーショントーナメントにて行われる。

- ◆ 予選は、本戦参加チームが決定するラウンドにてトーナメントを終了する。
- ◆ 予選の上位4チームは本戦への参加権を得る。本戦参加チームのキャンセル等によるチームの繰り上げ、ラッキールーザーの取り扱いは別項に定める通りとする。
- ◆ 予選参加チームとそのシーディングは予選プレミナリインクワイアリ終了時点で確定する。

2) 本戦

ジャパンツアーの本戦は12～16チームが参加して以下のように行われる。

予選実施の場合は、原則、12チーム(本戦推薦8チーム、予選通過4チーム)で行う。予選が実施されない場合は、最大16チームで行われる。

◆12チームによる3チーム×4プールのプール戦方式

各試合で勝利したチームには勝点2を与える。そして各試合に負けたチームには勝点1を与え、勝点の多いチームを上位とする。ただし、棄権により行われなかった試合では、勝利したチームには勝点2を与えるが、棄権したチームは勝点0とする。ただし、全ての続けられない、もしくは開始されない試合は、大会役員(大会(副)実行委員長、競技委員長、審判委員長)によって「①失格(DSQ)」もしくは「②負傷による失格(INJ/DSQ)」と評価され、②の場合は棄権したチームも勝点1を得るとともに、棄権するまでのセット、得点を保持することができる。

例えば、あるチームが第1セットを21-19で勝ち、負傷して棄権した時が第2セットの4-6だとすれば、このチームは勝点1、セットカウントは1-2、ポイントは21-19、4-21、0-15となる。この例で勝利したチームは勝点2を得るとともにセットカウントは2-1、ポイントは19-21、6-4、0-0とし、「負傷による失格(INJ/DSQ)」と加筆される。

試合が開始される前に「負傷による失格(INJ/DSQ)」が発生した場合、棄権したチームは勝点1、セットカウント0-2、ポイントは0-21、0-21となり、勝利したチームは勝点2、セットカウント2-0、ポイントは0-0、0-0となる。

もし有効な理由が無く試合を棄権した場合は没収試合とし、勝点0で0-2(0-21、0-21)で「失格(DSQ)」と記入する。この試合に勝利したチームは勝点2で2-0(0-0、0-0)となる。

•プールの途中で勝点が並んでいるチームは以下のとおり順位を決定する。

ー2 チームが勝点で並ぶ場合

- ・もし両チームが対戦している場合、対戦に勝利しているチームを上位とする。
- ・もし両チームが対戦していない場合、全ての対戦における得点率の高いチームを上位とする。
- ・得点率も並ぶ場合は同じ順位とする。

ー3 チームが勝点で並ぶ場合

- ・該当する3チーム同士の対戦での得点率の高いチームを上位とする。
- ・得点率も並ぶ場合は同じ順位とする。

•プールの全試合が終了した時は以下のとおり順位を決定する。

ー2 チームが勝点で並ぶ場合

- ・両チームの対戦で勝利しているチームを上位とする。

ー3 チームが勝点で並ぶ場合

- ・該当する3チーム同士の対戦での得点率の高いチームを上位とする。
- ・3チーム同士の得点率が並ぶ場合は、全ての対戦における得点率で順位を決定する。
- ・全ての対戦でも得点率が並ぶ場合は、本戦のシーディングで上位のチームを上位とする。

•決勝トーナメント(準々決勝～決勝)

決勝トーナメントは各プール上位1～2チーム(計4～8チーム)によるシングルエリミネーショントーナメントを行う。

•シード1～8の決定方法

プールAの1位をシード1、プールBの1位をシード2、プールCの1位をシード3、プールDの1位をシード4とする。

各プール2位のシードは抽選により決定する。

◆16チームによるトーナメント方式

シングルエリミネーショントーナメント方式及び変則ダブルエリミネーション方式で行う。どちらの方式で実施するかはジャパンツアー実行委員会において決定する。それぞれのトーナメント内容は別表に表示するとおりとする。

3) ファイナル

ジャパントツアーファイナルは8チーム(原則、ジャパントツアーチームランキング上位6チーム(ワイルドカードを含める場合あり)/JVAポイント上位2チーム)が参加して以下のように行われる。予選は行わない。

なお、ファイナルの競技形式は、ジャパントツアー第1戦～第9戦の試合進行状況、各チームの成績等を鑑み、変更する場合がある。

◆4チーム×2プールのプール戦方式

プール戦の順位はジャパントツアー本戦と同様の方法で決定する。

◆決勝トーナメント(準決勝、決勝)

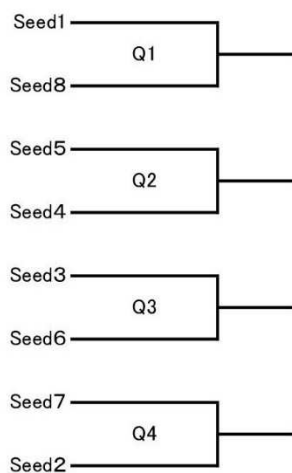
決勝トーナメントは各プール上位2チーム(計4チーム)によるシングルエリミネーショントーナメント方式を行う。

◆シード1～4の決定方法

プールAの1位をシード1、プールBの1位をシード2、プールAの2位をシード3、プールBの2位をシード4とする。

Japan Beach Volleyball Tour System1

Qualification tournament



Main Draw Pool Seeding

Pool A	Pool B	Pool C	Pool D
Seed1	Seed2	Seed3	Seed4
Seed8	Seed7	Seed6	Seed5(W)
Seed9	Seed10	Seed11	Seed12

※Seed9~12は抽選

Pool A

	Seed1	Seed8	Seed9
Seed1		#9	#5
Seed8	#9		#1
Seed9	#5	#1	

Pool B

	Seed2	Seed7	Seed10
Seed2		#10	#6
Seed7	#10		#2
Seed10	#6	#2	

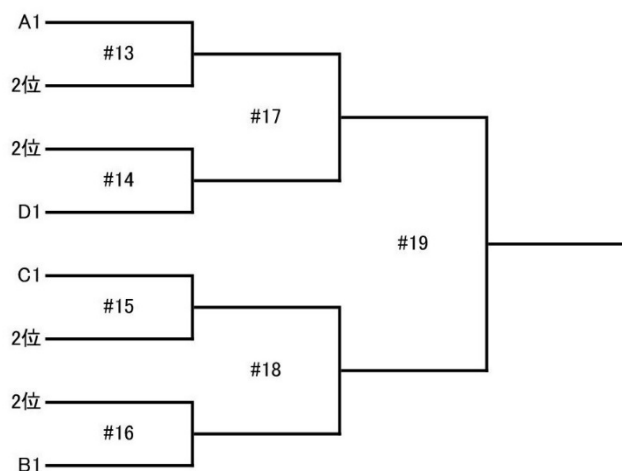
Pool C

	Seed3	Seed6	Seed11
Seed3		#11	#7
Seed6	#11		#3
Seed11	#7	#3	

Pool D

	Seed4	Seed5	Seed12
Seed4		#12	#8
Seed5	#12		#4
Seed12	#8	#4	

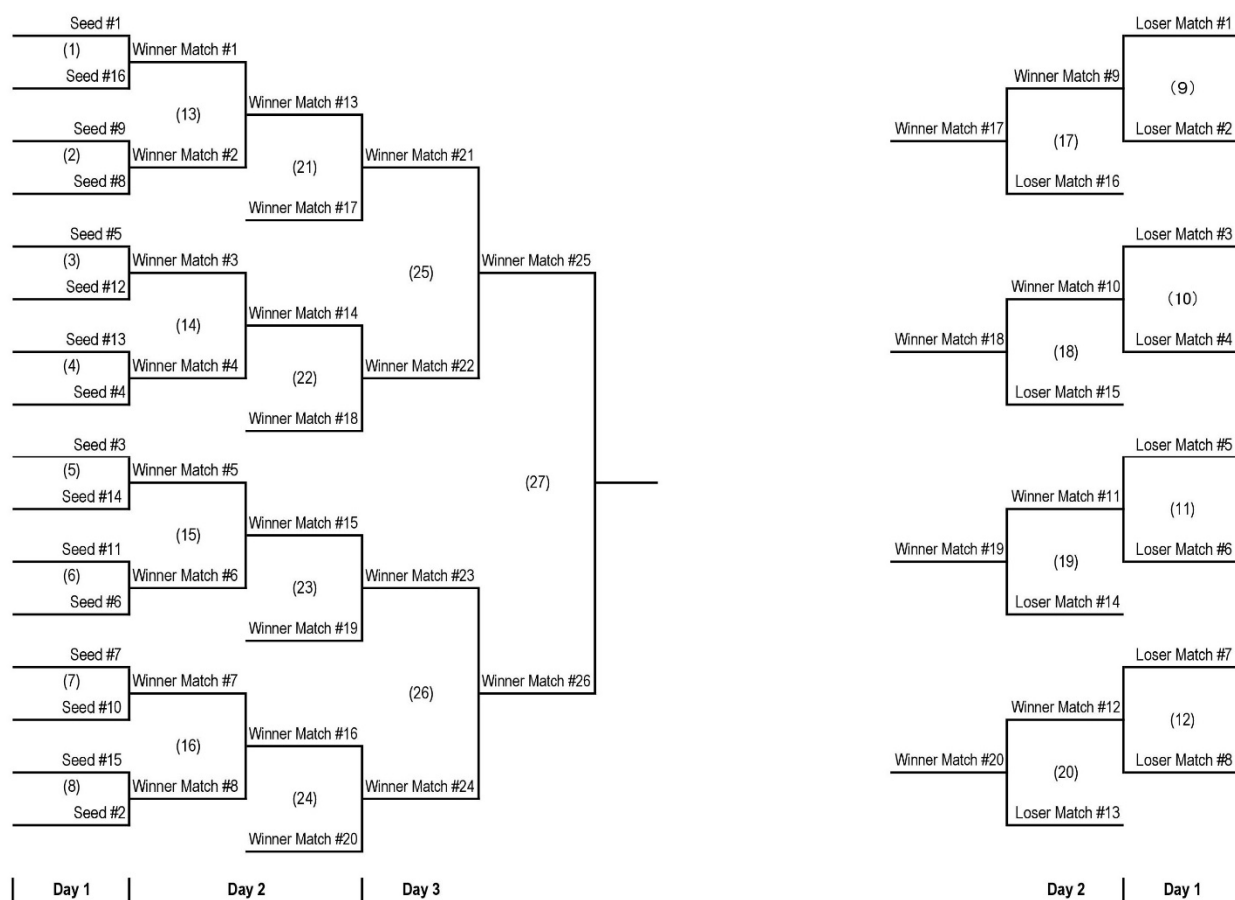
Main Draw Tournament



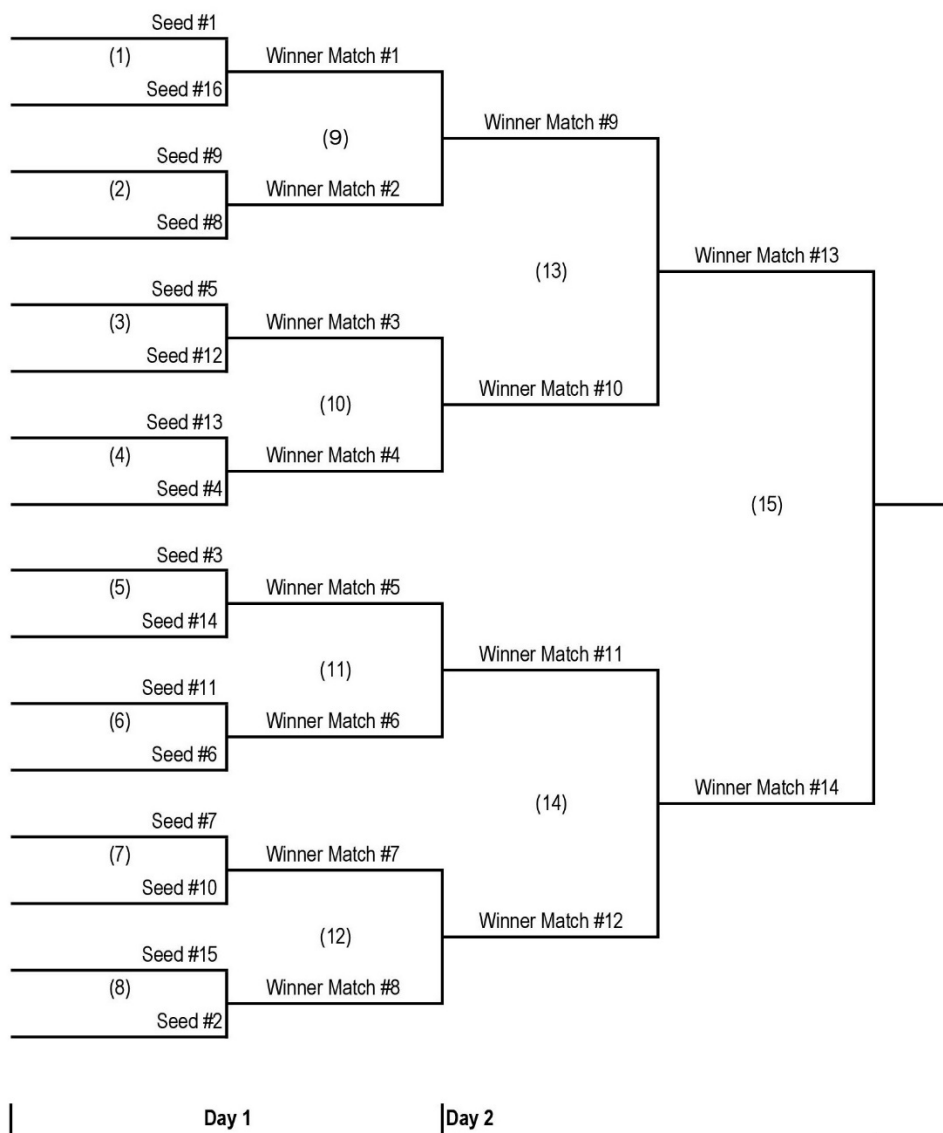
※プール戦からの進出上位チーム数は開催地により異なる。

※上位2チーム進出の場合、2位チームのシードは抽選により決定する。

Japan Beach Volleyball Tour System2 (変則ダブルエリミネーション方式)



Japan Beach Volleyball Tour System3 (シングルエリミネーショントーナメント方式)



Japan Beach Volleyball Tour Final

Pool Seeding

Pool A	Pool B
Seed1	Seed2
Seed4	Seed3
Seed5	Seed6
Seed8	Seed7

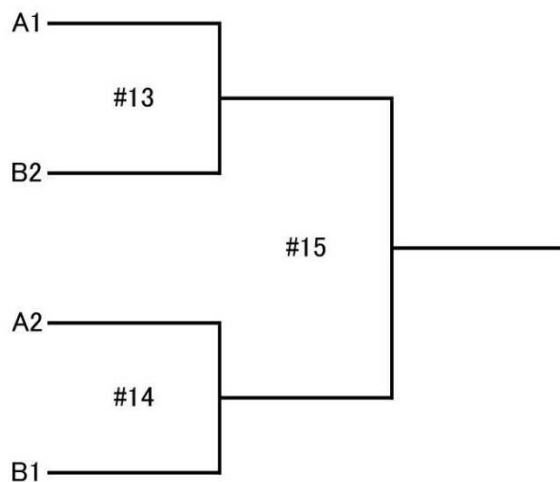
Pool A

	Seed1	Seed4	Seed5	Seed8
Seed1		#9	#5	#1
Seed4	#9		#2	#6
Seed5	#5	#2		#10
Seed8	#1	#6	#10	

Pool B

	Seed2	Seed3	Seed6	Seed7
Seed2		#11	#7	#3
Seed3	#11		#4	#8
Seed6	#7	#4		#12
Seed7	#3	#8	#12	

Main Draw Tournament



4 その他重要事項

(1) 競技全般

1) 男女共催

ジャパンツアーおよびジャパンツアーファイナルは男女共催で行われる。
やむを得ない事情が発生した場合に限り、男女別開催で行われる場合がある。

2) 試合形式

ジャパンツアーおよびジャパンツアーファイナルは全ての試合が3セットマッチで行われる。ただし予選はキャップが設けられることがある。

3) 形式の変更

事前もしくは当日に関わらず、やむを得ない事情が発生した場合に限り、ジャパンツアー実行委員会はトーナメント方式及び試合形式を変更することがある。

(2) ユニフォーム

ジャパンツアーおよびジャパンツアーファイナルは日本ビーチバレーボール連盟のユニフォーム規定を遵守して行われる。大会参加チームは原則日本ビーチバレーボール連盟のユニフォーム規定に適合したユニフォームを自分たちで用意しなければならない。ユニフォームのルールに関して詳細な基準はJVAビーチバレーボール事業本部競技委員長の判断によって行われる。

◆ユニフォームチェックはマッチプロトコルに審判によって行われる。もしくはプレリミナリイックワイアリ時にジャパンツアー実行委員会により行われることがある。

◆もしユニフォームチェック時にユニフォームに違反があると判断された場合、試合開始までに適正なユニフォームへの変更ができない場合は試合を没収される。

1) スポンサーロゴ

ユニフォームに露出するスポンサーマークやロゴの数及び位置、サイズについては日本ビーチバレーボール連盟のユニフォーム規定に定める範囲とする。胸番号、背番号の識別が可能なものであること。

※ただし露出が制限されるスポンサーもあり得る。

2) マニュファクチャーロゴ

ユニフォームのマニュファクチャーロゴはJVA用具公告の記載事項を順守すること。

※着用は認めるがマニュファクチャーロゴのマスキングを指示されることがある。

3) 大会主催者によるトップスの支給

大会主催者よりトップスの支給があった場合、大会参加選手は必ずそれを着用して試合しなければならない。トップス支給の有無は事前にジャパンツアー実行委員会事務局より告知される。

4) アンダーウェア等の着用

低温などの悪条件において競技委員長の許可があった場合に限りユニフォームの下にアンダーウェア等を着用することが出来る。

※チームは必ず同型、同色のアンダーウェアを着用しなければならない。また、どちらか一方の選手だけが着用することは許されない。

(3) コーチング

ジャパンツアーおよびジャパンツアーファイナルでは、監督が試合中にコーチングを行うことは出来ない。

(4) 大会の棄権

国際大会等では、「棄権」をチームの既得権として扱っているが、本大会は(公財)日本バレーボール協会の主催の大会として国内競技委員会の趣旨に合わせ、原則「試合の棄権」は「大会の放棄」とみなし、同大会でのそれ以降のプレーを認めない。ただしジャパンツアー実行委員会がやむを得ないと判断した場合はこの限りではない。

なお、棄権の手続きは、(5)キャンセル、2)本戦参加チームのキャンセルに規定する内容により処理する。

(5) ポイント

ジャパンツアーに参加したチームには別途定められたJVAポイントが与えられる。

(6) 賞金

ジャパンツアーならびにジャパンツアーファイナルに参加した選手には大会要項で定められた賞金が支払われる。

(7) 女子選手ユニフォームのオプション

ジャパンツアーならびにジャパンツアーファイナルでは、女子選手が着用するユニフォームのオプションとして、**半袖、長袖、ショーツ、パンツ(ズボン)タイプ**の着用を定められたルールに沿った範囲で認める。

(8) 公式行事への参加について

大会に参加する全ての選手はプレリナリイックワイアリ、テクニカルミーティング、表彰式など、大会が指定する大会運営上必要な公式行事には必ず参加しなければならない。

参加しなかった選手については以下の罰則を適用する。

1) プレリナリイックワイアリ、テクニカルミーティング

- ・同大会のエントリーを抹消し同大会への参加を認めないものとする。

2) 表彰式

- ・同大会で獲得したポイント、賞金を剥奪する。
- ・大会実行委員会に対し始末書を提出する。
- ・以降3大会の JVA 主催大会への出場を認めない。

3) 併催イベント、交流試合、スクール等

- ・大会実行委員会に対し理由書を提出する。

罰則については大会実行委員会がやむを得ない事情を認める場合はこの限りではない。

ただし、選手はやむを得ない事情が生じたと考えられる場合についても、それぞれ公式行事の開始前に大会実行委員長に事態を連絡しなければならない。

(9) コンプライアンス規定の遵守

大会関係者(選手を含む)は、スポーツパーソン、スポーツ関係者として品位と名誉を重んじつつ、フェアプレーの精神に基づいて他の範となるよう行動し、ビーチバレーボールの健全な普及・発展 に努めなければならない。

法令等違反行為に該当するもしくは、該当する恐れがあるものについては、公益財団法人日本バレーボール協会コンプライアンス規定に基づき対処する。

(10) その他

本規定は平成28年4月1日から実施する。

本規定の変更は公益財団法人日本バレーボール協会ビーチバレーボール事業本部本部会の議決によって行うことができる。

また、本規定に明示されていない不測事項はすべて公益財団法人日本バレーボール協会ビーチバレーボール事業本部本部会ならびにジャパンツアー実行委員会で決定する。

附則

平成28年6月1日・項目H、I追記

平成28年9月1日・3. ファイナル競技形式修正

平成29年3月1日修正

平成29年4月11日